

おんじゅく

8

昭和58年 8月

第238号

千葉県御宿町役場



連日の猛暑に砂浜は海水浴客であふれた（中央海水浴場）

21世紀をめざした

魅力ある観光地づくり

五カ年計画の観光振興事業を導入



▲ 夏には百万人以上の観光客が訪れる。

近年、国民の生活価値感の多様化や自由時間の増大などにより、「観光」は質的变化を遂げつつあります。

特に、「文化志向」や「ふるさと志向」の増大、いわゆる「休養型余暇」から「活動型余暇」への移行は、観光地のあり方に大きな変革をもたらす、といわれています。

この様な社会にあって、わが町の観光の現状は、道路網の整備や国鉄の電化に伴い、着実に伸びてきましたものの、年間観光客のほとんどが、海水浴客

という、"夏型観光地"です。

メキシコ塔や月の沙漠像などの歴史文化的資源があるけれども、多くの観光客を引き止め、滞在させる力はなく、夏季以外は、"立寄り観光"にとどまっています。

「夏型観光」から「通年観光」への脱皮は、町の観光を推進するうえで重要な課題となっています。そこで町では、今年度から五カ年計画で、県の補助事業である「観光振興事業」を導入し、魅力ある観光地づくりをめざすことになりました。

こうした観光産業の発展に負うところが大きい。

本町は緑の丘陵と長い砂浜、変化の多い海食崖を有する海岸線などの恵まれた自然と、長い歴史のなかで培われてきた風土を資源として、早くから観光産業が重要視され、基盤づくりが進められてきました。その結果、年間の観光客数は昭和三十八年の二十五万人から年々増加し、昭和四十五年には約五倍の百三十万人に達し、観光収入の面においても、十億円（昭和五十三年推定）を上回るほど重要な産業に成長しました。周辺市町村の人口が著しい減少を続けるなかで、本町がわずかな減少にとどまったのは、



観光の現状と課題

本町は緑の丘陵と長い砂浜、変化の多い海食崖を有する海岸線などの恵まれた自然と、長い歴史のなかで培われてきた風土を資源として、早くから観光産業が重要視され、基盤づくりが進められてきました。その結果、年間の観光客数は昭和三十八年の二十五万人から年々増加し、昭和四十五年には約五倍の百三十万人に達し、観光収入の面においても、十億円（昭和五十三年推定）を上回るほど重要な産業に成長しました。周辺市町村の人口が著しい減少を続けるなかで、本町がわずかな減少にとどまったのは、

こうしたマイナス面も挙げら

観光振興基本計画

今年度は、二十一世紀に視点をおいた、長期的な観光振興の方向づけと、当面の具体的な課題を明らかにする「観光振興基本計画」を策定します。

この基本計画は、観光行政を推進するための、いわば「観光診断」というべきものですが、社会構造の変化や観光レクリエーションの動向、そして町の実状を踏まえた実行性の高いものでなければ意味がありません。

○観光の入込数

	52	53	54	55	56
観光客数(人)	夏季	1,030,000	1,116,000	1,052,000	905,000
	年間	1,180,000	1,281,000	1,208,000	1,041,000

○宿泊施設(57年)

ホテル・旅館	17軒
民宿	260
貸家・借間	110

○観光収入と町の投入額

	56
観光収入(推定)	2,031,438千円
御宿駅の収入(夏季)	99,930
町の観光投入額	29,159

○駐車台数

	53	54	55	56
駐車台数	19,692	19,144	18,018	20,180

駐車台数は、夏期の有料駐車場のみ。

そのため、各種実態調査、意識調査を行い、現状を分析し、それらを基礎に、多くのみなさんの意見を反映したものにするため、意見を反映したものにするため、観光振興委員会を設置します。委員会は、観光関係者だけでなく、農・漁業を含む町の団体

の代表者で構成し、地域に密着した「観光振興基本計画」を策定する諮問機関とします。

この基本計画を軸に、五十九年度には実施計画を策定、六十一年度からの三年間で具体的な事業を実施するわけです。

観光地にふさわしい きれいな町づくり

ごみ処理場今秋着工

六月の町議会で、新しいごみ処理場の建設が、正式に決まりました。

御宿町は、観光客の九〇パーセントが夏期に集中しており、そのためホテル・旅館・民宿などから、大量のごみが排出されています。

現在の焼却炉は、昭和四十五年に建設され、老朽化が目立ち、夏季のごみ全部を、炉内焼却することは、不可能になっています。これではハエなどが発生し、衛生上好ましくないので、やむをえず野外焼却しているのが実状。さらに、県企業庁による保養団地の計画も進められているため、これらを考え入れた、新しい焼却場の建設が急がれています。

新しく建設されるごみ処理場

は、今年度から二ヵ年で工事をします。そこで、新しいごみ処

理場の概要をお知らせします。

総工費は、

七億三千五百万円

建設地は、久保字上五靈地先、

現在の焼却炉の隣りです。ここは、過去数年間、埋立処理され

たため、手狭になっていました

が、町有山林の借地権者や周辺地主が、新しい焼却炉建設に理解を示し、協力してくれたため必要な用地が、確保できました。

総工費は、七億三千五百万円で、昭和五十九年の十二月には完成予定です。その間、現在の炉を補修しながら使用することになります。

町内のごみ

安全に衛生的に処理

稼動三十トン処理炉（二基）

これで、夏期のピーク時に排出される町内のごみ（可燃物）を完全焼却することができます。

一方、焼却炉の建設は、そこから発生する煙や悪臭のため、公害が発生するのでは、という心配ができます。

新しい焼却場は、公害防止にも力を入れ、有毒ガスの除去装置や、電気集じん器でのほこりのカット、悪臭を外へ逃さない

夷隅郡連合町民号で 善光寺参りをしませんか

今年の十一月九日から十日

にかけて一泊二日で臨時列車

による「善光寺参拝とりんご狩り」の旅行を実施します。

この旅行は昨年も実施しまし

たが、夷隅郡内の五町合同で

本原線の存続と外房線複線化

早期実現、そして郡内各町民

の相互交流を目的として企画

されました。

新設される焼却炉の能力は、

一日十六時間の作業で、六十

人のごみを焼却処理できるもの

です。（准連続燃焼式、十六時間

町の基幹産業に成長した観光の将来を見つめて、具体的な計画のない岩和田・小浦地先の開発などの課題を方向づける「観光振興基本計画」に、町民のみなさんのご理解、ご協力をお願ひします。

の将来を見つめて、具体的な計画のない岩和田・小浦地先の開

ためのエアーカーテンなど、周辺に悪影響を与えないよう工夫してあります。

また、焼却場から出る污水は、循環方式で再利用します。

このように、新しい焼却場は、町内のゴミを安全に、しかも衛生的に処理できるよう計画されています。

しかし、焼却炉が新しくなつても、生ゴミの中に不燃物が混ざっていたりすると、処理能力が低下し、炉が損傷します。

七億三千五百万円もの巨費を投じて建設される焼却場です。

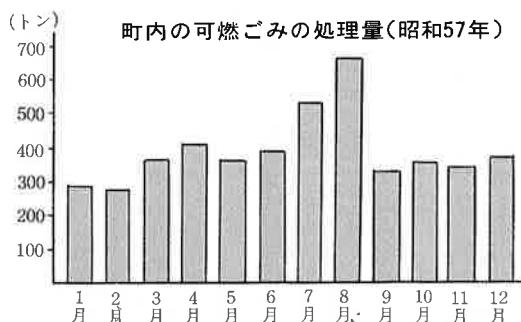
みなさんの中よととした心遣いで、焼却炉を長持ちさせよう

ごみ収集のルールを守りたいも

のです。

そして、観光地として誇れる

町内の可燃ごみの処理量(昭和57年)



ごみのない、きれいな町づくりを推進しましょう。

列車内では新進歌手が同行し車中を賑やかす他宴会場では勇壮な川中島陣太鼓が見られます。また全員にりんごの大宴会を体験なさってはいるのです。

今回の旅行は特急電車を使い乗り換えなしで戸倉まで行き、バスで戸倉上山田温泉へ、一日

目はそこで宿泊、二日目は川中島古戦場見学、りんご狩り、善光寺参拝などをを行い、長野駅から連合町民号で帰ってくるとい

う日程です。

企画調整室、または御宿駅(電)(二〇五三)までお願いします。

町議会議員選挙の投票日は

9月25日



正しい一票が豊かな町を築きます

御宿町議会議員の投票日が、九月二十五日(日)に決まりました。わたしたちにとって、最も身近な町民の代表者を選ぶ大切な選挙です。

有権者一人一人が、冷静に候補者を判断し、町民の代表者としてふさわしい人を選ぶことが、明るく住みよい町づくりにつながります。また、今回の選挙から、議員定数が十六人となり、議員に寄せる町民の期待は、より大きなものになります。違反のない、正しい選挙をしましょう。

投票のできる方

今回の選挙で投票できる方は、次の事項に該当する方で、選挙人名簿に登録されている方です。

①六月十五日までに、本町で住民票が作成された方、または転入届をした方で、引き続き三ヶ月以上住民基本台帳に記録されている方。
②前記①に該当する方で、昭和三十八年九月二十六日までに生れた方。

※但し、①、②に該当する方も、投票日当日までに町外へ転出した方は投票できません。

町内で住所を変えた場合

町内転居をした方で、八月末日までに住民票の転居手続きが済んでいる方は、転居先の投票所で投票できますが、九月一日以降に転居の手続きをした方は、

投票所の入場券

旧住所地の投票所で投票することになります。

投票所の入場券

投票所の入場券は、九月十九日に送付する予定です。投票当日は、必ず入場券を持参してください。

また、入場券が届かなかつた方でも、「投票できる方」の①②に該当する方は投票できますので、投票所の係へ申し出てください。

不在者投票は9月18日から受付します

仕事の都合や病気、その他やむをえない用務のため、当日投票所へ行って投票できない方は、不在者投票ができます。

この入場券で、読み方などに誤りがありましたら、お手数ですが、投票所の係へ申し出てください。

不在者投票は、九月十八日から同二十四日(投票日前日)まで

の毎日、午前八時三十分から午後五時まで。場所は、役場内に設置します。

※不在者投票のできる方は、次

開票速報

開票は、九月二十五日午後七

時から、役場会議室で行います。

開票速報は、有線放送と役場前に設置する速報掲示板で発表します。発表時間は、午後八時を第一回として、以後確定するまで三十分間隔で行います。

なお、開票の参観人は、会場の都合で人数を制限することがあります。

ポスター掲示場は37か所

今回の選挙では各候補者のポスターが、町内三十七か所のポスター掲示場に貼られます。各候補者の選挙運動用ポスターは、掲示場以外には掲示できません。この掲示場を壊したり、ポスターを破ったりすると、法により罰せられます。また、掲示場の前には車を駐車したり、その他妨害になるものを置かないでください。

また、前記の理由で、他の市町村に滞在中で、投票日までに本町に帰れない方は、滞在地の選挙管理委員会または、本町の選挙管理委員会に、不在者投票の手続きについておたずねください。

また、前記の理由で、他の市町村に滞在中で、投票日までに本町に帰れない方は、滞在地の選挙管理委員会または、本町の選挙管理委員会に、不在者投票の手続きについておたずねください。

④都道府県の選挙管理委員会が指定した病院に入院中の場合。この場合は、病院内で不在者投票ができます。手続きは、病院におたずねください。

また、次の事項に該当する方で、郵便不在者投票証明書をお持ちの方は、自宅などで不在者投票をして、投票用紙を町選挙管理委員会へ郵送することができます。

郵便による不在者投票

また、次の事項に該当する方で、郵便不在者投票証明書をお持ちの方は、自宅などで不在者投票をして、投票用紙を町選挙管理委員会へ郵送することができます。

၁၂၁

税の豆事典



お年寄りと税金

九月十五日は敬老の日。長い年月ご苦労を重ねてこられたお年寄りには、税金面でも特典が設けられています。

○老年者年金特別控除……公的年金や恩給は給与とみなされ、所得税がかかりますが、お年寄りの場合は、公的年金や恩給の収入金額から老年者年金特別控除として七八八万円が控除されます。

お年寄りを扶養している
人が受けられる特典

右の計算のとおり、収入が百八十万円以下なら所得税はかかるません。

老年者控除
基礎控除
合計 二十九万円
百八十万円

では、公的年金や恩給だけが収入源のお年寄りの場合、いくらまでなら税金がかからないかを見てみましょう。

▽所得税がかからない場合

老年者年金特別控除 七十八万円
給子所得控除 五十五万円

お年寄りを扶養している人へ
けられるものです。

お年寄りを扶養している人が受けられるものです。

六十五歳以上で年間の所得金額が一千万円以下であれば、次の二つの所得控除が受けられます。

○老年者控除……所得控除の一
つとして、老年者控除があり、所得金額から二十三万円が差し引かれます。

の老年者年金特別控除……公的年金や恩給は給与とみなされ、所得税がかかりますが、お年寄りの場合は、公的年金や恩給の収入金額から老年者年金特別控除として七十八万円が控除されます。

また、そのお年寄りが父母や祖父母であって、しかも扶養している人などと同居しているときは、さらに五万円加算され、四十万円の控除が受けられます。一定額の所得というのは、自分の勤労による所得（給与所得、事業所得など）の場合は二十九

お年寄りと同様、からだの不自由な方にも、いろいろな特典があります。詳しくは、町税務課や茂原税務署にお問い合わせください。

万以下、自分の勤労以外の所得（利子、配当など）の場合は、十万円以下の金額です。

この所得を公的年金や恩給だけを受けているお年寄りに当てはめてみると、年間収入が百五十七万円（老年者年金特別控除七十八万円、給与所得控除五十万円、給与所得二十九万円）となります。収入がこの金額以下の年寄りならば、扶養控除の対象となります。

▽身体障害者手帳をお持ちの方で、障害の程度が①両下肢または体幹の障害が一、二級の方、②心臓・じん臓・呼吸器の障害が、一、三級の方。
▽戦傷病者手帳をお持ちの方で、障害の程度が、①両下肢または体幹の障害が特別項症から第二項症までの方。②心臓・じん臓・呼吸器の障害が特別項症から第三項症までの方。
（証明書の申請方法）
該当者は、身体障害者手帳、
戦傷病者手帳または県知事の証

町議会議員選挙日程

- 告示期日 九月十八日
- 立候補届出期間 九月十八日
- から同十九日まで (午前八時三十分から午後五時まで)
- 不在者投票期間 九月十八日
- から同二十四日まで (午前八時三十分から午後五時まで)
- 開票立会人届出期限 九月二十二日 (午後五時まで)
- 投票日 九月二十五日 (午前

投票所

投票所名	場 所	該 当 地 区
第1 投票所	御宿小学校体育館	久保、新町、六軒町
第2〃	公 民 館	須賀、浜、高山田
第3〃	岩和田小学校体育館	岩和田
第4〃	布施小学校体育館	上布施
第5〃	実 谷 区 民 館	実谷、七本

地区別有権者数

地区名	男	女	計
須賀	360	416	776
浜	313	355	668
高山田	125	123	248
久保	358	387	745
新町	526	605	1,131
六軒町	271	309	580
岩和田	579	673	1,252
上布施	288	332	620
実谷・七本	203	217	420
計	3,023	3,417	6,440

(昭和)

投票區別有權者數			
投票區	男	女	計
第1投票區	1,155	1,301	2,456
第2 //	798	894	1,692
第3 //	579	673	1,252
第4 //	288	332	620
第5 //	203	217	420
合 計	3,023	3,417	6,440

「海と山の子」

交流事業



▲お母さんたちの手づくりバーベキュー



▲町をあげての歓迎式

夏

ジングルスを吹き飛ばした今回
の交流会

「野沢温泉村の生徒が来ると、いつも海が荒れてかわいそうだ、せっかく遠路はるばる来たのに。」

御宿の関係者は毎年こう思って

いた。しかし、どうだ今年の海

は、まるで一面にジャーテンを

敷いた様な錯覚にとらわれる。

「ヨーシ！」もういやという程海

に入れてやろう。連日三十度

を越す猛暑の中子供達は、暑

さも何のその元気一杯に泳ぎま

くり帰りのバスはまるで黒ンボ

大会の送迎車の様であった。

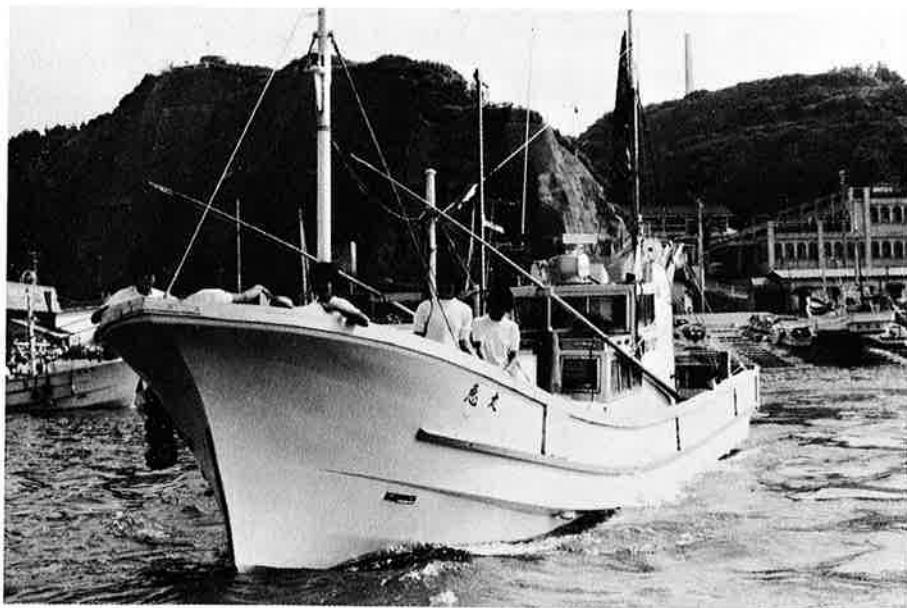
▲楽しかったスイカ割り

▲月の沙漠での記念撮影

みんなの広報 (6)



▲野沢での再会を約束



▲太平洋の香りを胸一杯

ありがとう

岩和田の漁船団

今回の海と山の子交流事業で
は、岩和田港の漁船二十五隻が

出漁をとりやめて、子どもたち
に船を開放してくれました。

本当にありがとうございます
た。

徳清 恵良	むら辰南	國喜	吉孝	正勝	鶴俊	幸和	久新	藤	第八福市丸	村上	平次さん
栄榮 昌	し巳	海	栄美	ひろみ	幡榮	栄徳	榮	かすや丸	粕谷	輝久さん	
丸 丸	丸 丸	丸 丸	丸 丸	丸 丸	丸 丸	丸 丸	丸 丸	丸 丸	埋田	庄一さん	
市 東	土 屋	水 上	市 東	齊 藤	市 井	殿 岡	市 原	松 本	江沢 健次郎さん		
正一さん	定 雄	功 さん	鶴 夫	光 郎	八 郎	七 次郎	吉 野	喜 松	市東 幸一さん		
清 宗	さん		鶴 夫	光 郎	さん	さん	田 中	正 一	渡 辺	俊夫さん	

御宿町子ども会

インリーダー講習会

七月二十九日から一泊二日の日程で、町の子ども会のインリーダー講習会が開かれました。

公民館を主会場に、五十四人の小学生が参加。キャンプファイヤー資質を養いました。以下、参加した子どもたちの感想文です。

ハイキングでのこと

岩和田 東 純子

インリーダー講習会の中で、私にとって一番苦しく、一番心に残ったのが、二日目のハイキングでした。前日に、十キロ歩くと聞かされましたが、学校の遠足でも同じくらい歩いたので「平気だ」と思っていましたが、いざ、歩いてみると大変な道のりでした。

最明寺での話、登り坂のある浅間神社やサンドスキー場、それにメキシコ塔。そこでいろいろな話を聞きましたが、暑くてたいへんでした。

でも私は、サンドスキー場に行き、大切なことを学びました。暑いなか、坂を登ってきた私たちに冷たい水がコップ一杯ずつわたされました。その時、だれかが、コップ一杯の水でもこんなに大切なんだよ、と言いました。私はそのとおりと思いました。私たちがふだん、どんな

限られているのです。この水はとてもおいしかった。私たち、新しいものが出て、古いものを捨てたりします。これからは、ものを大切にして、資源を大切にしようと思いました。この講習会に参加してほんとうによかったです。

インリーダー講習会に参加して

久保 天津直美

インリーダー講習会とは、各地区から代表者が集まり、一ぱく二日で行われる。キャンプ活動に必要なこと、チームワークなどを育てていくという大きなねらいがある。わたしたちは、この重大な仕事をさしきられたリーダーなのである。

講習会で行なった主な行事は、キャンプファイヤー、ハイキング（史跡めぐり）であった。わたしたちは、先生方に指導されながら、行事をこなしていくた。



▲町の歴史を学ぶ子どもたち

非行少年の更正問題と 覚せい剤撲滅

キャンペーン

社会を明るくする運動

七月は、犯罪のない明るい社会を築くことを目的とした『社会を明るくする運動』の強調月間でした。



この期間中町内では、二つの行事が社会福祉協議会を中心に行われました。七月十四日には、夷隅地区的保護司や教育関係者を集めて、『社会を明るくする運動』公開ケース研究会が公民館で開かれました。(写真左上)「進学を目前にして、ざ折して、いく少年」というテーマをとりあげ、各班ごとに事例をまじえ話し合いが行われました。また、七月十六日の土曜日には、郡内の薬屋さんが中心となって、覚せい剤やシンナーなどの撲滅キャンペーング、御宿駅周辺で行われました。(写真左)覚せい剤などの中毒患者は、年々増え続け、青少年や婦人層にまで広がっていると言われています。そこで、薬物を扱う薬局、薬剤師の方々が、覚せい剤の恐しさなどを街頭でPR。御宿駅に着いた海水浴客に署名運動を呼びかけたものです。

地名は、その土地の歴史的背景から名づけられたものが多い。

今回は、「六軒町」の地名のルーツと、六軒町にある「十王堂」について述べてみたい。

須賀の伊藤家にある文書には、「明暦三年（一六五七年）に、岩和田村と御宿郷の境へ、本郷四カ村（須賀、浜、久保、高山田）より百姓六人を差出し、六軒町と唱えた。」とある。

百姓六人とは、「六左衛門、平丘衛、善三郎、甚九郎、三兵衛、五郎七」たちで、境番（村境の番人）として住みつき、六軒町と呼ぶようになった。

六軒町の住民は、信仰心が厚い。妙音寺の住職、幸順法師によると、百姓六人とは、「六左衛門、平丘衛、善三郎、甚九郎、三兵衛、五郎七」たちで、境番（村境の番人）として住みつき、六軒町と呼ぶようになった。

岩和田村と御宿郷の境へ、本郷四カ村（須賀、浜、久保、高山田）より百姓六人を差出し、六軒町と唱えた。」とある。

須賀の伊藤家にある文書には、「明暦三年（一六五七年）に、岩和田村と御宿郷の境へ、本郷四カ村（須賀、浜、久保、高山田）より百姓六人を差出し、六軒町と唱えた。」とある。

より右六軒町砂山へ十王堂引移しつかまつり候。「其の後、年來を相過し、延宝七年までに十王堂を再建ならびに諸尊像等まで、悉く成就しつかまつり候」

「明暦年中に岩和田村より御宿村の境へ、本郷村四カ村より差出し候者（前出の六人）の内、高山田村百姓四郎左衛門居屋敷のもの、年々息苦しくなる。

中学生が「あんどん」コンクールに参加して七、八年たつと思ふ。どなたの発案か、素晴らしいことと思うが、一筆一筆描かれた作品には、夏を思わせるもの、子供の夢あるもの、時の流れを感じさせるもの、さまざま参拝人の目を楽しませてくれる

「あ、まだ破れていない」とかれた「あんどん」であった。

「あ、まだ破れていない」という子供の声。室内安全、無病息災を願い帰路、「あ、やられてる」「どうして」「残念ね」となだめながら、ビニールの上から戻そうとする子供の手。

来年も続けるならば、一声の管理を。出品作品全部に小さな明りを。そして、浅間神社の祭りをみんなで楽しみたい。

中学生の描いた「あんどん」のまさき上がりの砂山に登りつく

神と神明宮を、十王堂山続きに願い出たところ、望みがかなつたので、明暦年間に妙音寺境内にあった十王堂と、高山田村四郎左衛門の「居屋敷神」と「神明宮」を、山続きの砂山に移し、勧請した。

このことも、伊藤家の文書に記されており、「（中略）妙音寺を成就しつかまつり候」

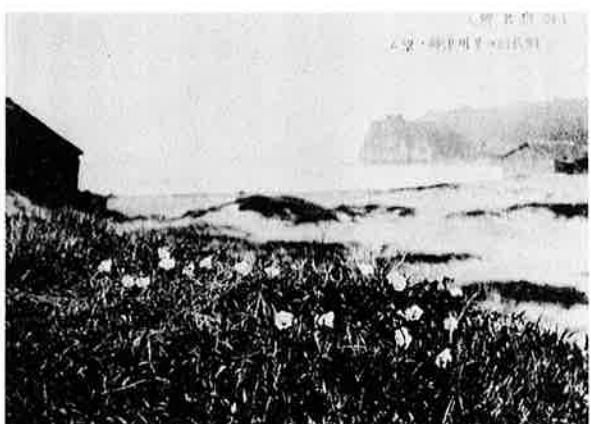
六軒町と十王堂

（その一）

このことも、伊藤家の文書に記されており、「（中略）妙音寺を成就しつかまつり候」

この写真は昭和二十一年頃、荻須高徳画伯が古賀氏別荘に宿し、御宿の海岸風景を描いたことがある。その時、御宿の渚と砂丘を賞賛して「これだけのきれいな砂の色はヨーロッパ各地でもあまり見られない」と言わされた。画伯は、岩和田浦の野趣にみちた男性的な大波月の断崖が特に気に入り、フランス南海岸のエトルタに似ているということで、好んで連日描かれた。画伯はいま尚パリに在住、多くの日本人画家中でも著名な存在として、フランス画壇に貢献中であることを付記しておきたい。

〈なつかしの風景〉



御宿海岸の砂丘

久保 辺致孝

そこには可憐な花をつけた浜辺顔が咲きみだれ、ロマンの生まれそうな甘い詩情にあふれた御宿の夏の風景がある。観光バスのガイド嬢にも歌われる「御宿ブルース」の発祥の地。砂丘に咲く月見草、若い人なら思わず口ぞざみたくなる。

月のあかりに二人の胸に乱れ咲く花 月見草 行こか砂丘へ 戻ろか宿へ 梦の御宿 恋の町 恋の町 この写真の題名は『(御宿名

物) 網代湾ヨリ川津岬ヲ望ム』とあるが、砂丘の両端にある家屋はまぎれもなく地曳納屋であり、いかにも素朴な感じである。手前は藪蒼き、前方のはトタン葺きで、網元がそれぞれ異なる。地曳網は当時は「何じょう」かあって、漁期は初夏から晚秋にかけ廻し曳き上げる。その地曳網もいまは網代湾から消え去っている。

この写真は昭和二十一年頃、荻須高徳画伯が古賀氏別荘に宿し、御宿の海岸風景を描いたことがある。その時、御宿の渚と砂丘を賞賛して「これだけのきれいな砂の色はヨーロッパ各地でもあまり見られない」と言わされた。画伯は、岩和田浦の野趣にみちた男性的な大波月の断崖が特に気に入り、フランス南海岸のエトルタに似ているということで、好んで連日描かれた。画伯はいま尚パリに在住、多くの日本人画家中でも著名な存在として、フランス画壇に貢献中であることを付記しておきたい。

